

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

仁比そうへい前参院議員 『市議会に共産党3議席の 値打ち』力強く訴え

6日、仁比聡平前参院議員を迎え、橘ふみ、舟木けんじ、田中はじめの各ブロックで予定候補者が街頭から政治の革新を訴えました。

田中はじめブロック

悪い政治を変える特効薬 共産党の躍進で政治革新を！

まず、仁比前議員が、「声を上げれば政治は変わる。日本共産党の躍進で、暮らし・生業を守る政治に変えよう」と訴えました。

原発のない 21世紀の松江を



訴える仁比聡平前参院議員と田中はじめ市議

「人間に地震を止める力はないが、被害を減らす対策はできる。最大の対策は原発を直ちに片づけること」と、原発のない松江の実現を訴えました。

舟木けんじブロック



中央が舟木予定候補、左が仁比前参院議員

この日は、スタッフ用赤いウィンドブレーカーの初お目見え。くにびき大橋に

橘ふみブロック

たくさんの方を呼ぶことができました。支持者が旗やプラスターを持ち寄り応援しました。仁比氏は「松江市議選での3議席確保が、国政選挙での政治を変える力になる」と、支援を訴えました。



中央が橘ふみ市議、左が仁比前参院議員

「私たち女性や子ども、自衛隊員、大変、原発のない、安心して子育てできる松江市を作るため、力を貸してほしい」と心を込めて訴えました。

コロナ感染症対策、万全を期すように 市民の営業や暮らしを守って 橘祥朗の代表質問①



橘祥朗市議

橘祥朗市議は3月1日代表質問を行い、新型コロナウイルス感染症対策について、「党市議団はこの間7回申し入れをおこなった。中心は、①いつでも、どこでも、誰でもPCR検査が受けられること、②医療体制の崩壊を防ぎ、入院や治療の体制を確保するため、民間医療施設を含めて支援の拡充を求めること、③自衛隊員を余儀なくされた事業者への補償、又パートなど非正規雇用者の、仕事と収入の激減に対する、安心して生活できる体制を強化すること、の3点。今後の対応は」と問いました。

東日本大震災・福祉原発事故から100年 原発のない松江を子どもたちに

東日本大震災から100年の3月11日、京橋にて日本共産党島根県議団と松江市議・予定候補が街頭宣伝を行いました。

尾村利成県議は「松江市は、唯一県庁所在地に島根原発を抱え、2号機の国の審査が最終版を迎えようとしている。4月に選ばれる市議、市長は再稼働の判断を迫られる。140キロの

活動層が島根原発のすぐ近くを走っており、再稼働は絶対に認められない」と訴えました。

舟木けんじ市議予定候補は、福島原発事故の後、10年たっても元の暮らしに戻れない原発事故の特殊性を訴え、田中肇市議は「島根原発の再稼働許さず、子どもたちに安心の松江を残そう」と呼びかけました。

「命に代わらない業者などへの罰則を決めているが大問題。国に対して罰則の撤回を申し入れるべき」と、市長に求めました。

市長は「医師の体制、接種を受けやすい会場を確保する。市民の理解と納得のもとで接種を受け入れてもらう、法改正については、丁寧な説明と、運用面では人権に配慮した対応をする」と答弁。



右2人目から尾村・吉儀・舟木・田中の各氏